

【イベント案内】

県立丹沢湖ビジターセンター

- 安全登山教室「山でのトラブル対処法」
内容：事故発生時にできるだけ被害を少なくする方法と道迷いを防ぐ方法を座学と実技で学びます。
実施日：平成26年10月4日(土)
(雨天決行、荒天の場合は翌日に延期)
時間：10:00~16:00頃
集合解散：西丹沢自然教室
※午後、周辺の登山道を歩きます
募集人数：高校生以上20名 ※応募者多数の場合は抽選
参加費：1,500円(保険代、資料代など)
締切：9月22日(月)必着
申込み：往復ハガキまたはFAXに行事名・参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号(FAXでお申し込みの場合は返信先FAX番号)を明記して締切日必着で丹沢湖ビジターセンターまで。※詳細は締切後、返信にて連絡します。
共催：神奈川県立西丹沢自然教室

県立秦野ビジターセンター

- 自然教室「はじめての地図とコンパス」
内容：登山を始める前に地図とコンパスの使い方を学んでみませんか？室内で基礎を学んで、野外で実践します。(初心者対象)
実施日：平成26年11月21日(金)
時間：9:15~16:30
場所：県立秦野ビジターセンター(室内)および周辺の登山道
募集人数：30名(高校生以上) ※応募者多数の場合は抽選
参加費：1人2,200円(保険代・資料代込)
締切：11月6日(木)
雨天の対応：内容を多少変更して実施
申込み：往復ハガキに行事名、参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号を記入し、締切日必着で秦野ビジターセンターまで。※詳細は締切後、返信にて連絡します。

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

- 宮ヶ瀬ラボ「丹沢六木」
内容：東丹沢は江戸時代、幕府の御林だった！当時、守られていた6種類の木を紹介。
テーマ：10月：樺、栗 11月：樺、榎、杉、12月：樺
開催日時：毎週土曜日、日曜日、祝日
13:00~15:00の間で随時
申込み：不要 参加費：無料
問合せ：県立宮ヶ瀬ビジターセンターまで。
- クラフト教室
開催日：毎週、土曜日・日曜日・祝日
受付時間：9:00~11:30、13:00~15:30
料金：300円~500円
申込み：不要。当日、ビジターセンターまでお越しください。
※団体(10名以上)でご利用の場合は平日も対応いたします(要予約)。



昨年の「山でのトラブル対処法」の様子。
実施内容は写真と変更にある場合もあります。

2014
9・10月号
No.112

～自然公園から季節のたよりをお届けします～

神奈川県自然公園だより

丹沢大山国定公園 県立丹沢大山自然公園 県立陣馬相模湖自然公園 富士箱根伊豆国立公園



丹沢六木 宮ヶ瀬ビジターセンター

春の木丸登山道にあるモミの大木

東丹沢(中津川流域の一部)は、江戸時代に幕府が所有していた御林でした。御林では樹木を無断で伐採することはご法度で、中でも特に伐採を禁じられた6種類の樹木がありました。

寛永元年(1624年)に幕府の役人が江戸花水橋建築用材の切り出しの際に調査を行いました。その時、材としてとても優れていた「榎、栗、樺、杉、樺、榎」の樹木の伐採を禁止し、これらを「丹沢六木」として守ってきました。

第二次世界大戦中の資材利用や戦後の復興資源、人工林開発のため、多くの樹木が伐採され、守られていた「丹沢六木」も少なくなりました。現在では、東丹沢の稜線部や大山北尾根、札掛周辺などで残された「丹沢六木」を見ることができます。

宮ヶ瀬ビジターセンターから徒歩10分、春の木丸へ向かう登山道に丹沢六木の一つ、モミの大木が林となっている場所があります。その大きさを実感してみてください。(三瓶)

※宮ヶ瀬ビジターセンターでは、10~12月にかけて宮ヶ瀬ラボ「丹沢六木」を特集します。ご来館、お待ちしております。

※参考資料：神奈川の林政史(発行：神奈川県農政部林務課)

丹沢の自然再生(発行：日本林業調査会)



丹沢三峰(本間ノ頭)付近のモミ林

自然公園へ出かけよう



休館日のお知らせ
県立ビジターセンター：月曜日(祝日開館)、祝日翌日(土日開館)
1~3月第2木曜日(祝日開館)
年末年始(12/29~1/3)
箱根ビジターセンター：6月第2水曜日とその翌日、
年末年始(12/28~1/1)

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

〒243-0111 清川村宮ヶ瀬940-15
Tel046-288-1373 Fax046-288-1162
開館時間 9:00~16:30
(1/4~2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/miyagase/>

県立秦野ビジターセンター

〒259-1304 秦野市堀山下1513
Tel0463-87-9300 Fax0463-87-9311
開館時間 9:00~16:30(通年)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanovc/>

県立陣馬自然公園センター

〒229-0201 相模原市緑区佐野川659-3
Tel0426-87-5270 Fax0426-87-5270
開館時間 9:00~16:30
(12/1~3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/jinba-vc/>

県立丹沢湖ビジターセンター

〒258-0202 足柄上郡山北町玄倉515
Tel0465-78-3888 Fax0465-78-3777
開館時間 9:00~16:30
(1/4~2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzakowvc/>

県立西丹沢自然教室

〒258-0201 足柄上郡山北町中川1867-2-9
Tel0465-78-3940 Fax0465-78-3940
開館時間 8:30~16:30
(12/1~3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/nishitanzawa/>

環境省箱根ビジターセンター

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根日札場164
Tel0460-84-9981
開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
<http://www.mmjp.or.jp/HakoneVisitorCenter/>

編集・発行：公益財団法人 神奈川県公園協会 〒231-0027 横浜市中区扇町3-8-8 関内ファーストビル6階

TEL:045-651-0931 FAX:045-651-0932

公園課(自然公園担当):sizenkouen@kanagawa-park.or.jp ホームページ <http://www.kanagawa-park.or.jp/>

後援：丹沢大山自然再生委員会

神奈川県公園協会

検索

ビジターセンター発 自然の情報

箱根のクマさん

箱根ビジターセンター

みなさんは箱根でクマに出会ったことがありますか？私は天気の良い日は毎日のように会っています。と、言ってもみなさんが思い浮かべるクマとはちょっと違います。

“箱根のクマさん”は、約三千年前、箱根山最後の大きな火山活動で誕生した「冠ヶ岳」の愛称で箱根ビジターセンターのマスコットの存在になっています。

ビジターセンターの玄関先から北東に目をやると、ゆったりと横たわるクマの後姿を見ることができます。小さいお耳に大きいお鼻、ちょうどクマさんの頭のように見えるのが「冠ヶ岳」です。

10月下旬、クマさんの頭が赤や黄色に色付き始めると箱根に紅葉シーズンの到来です。12月、ようやく湯本の街に紅葉の便りが届く頃には、雪化粧をしたクマさんが白熊のような姿で箱根にいち早く冬の訪れを告げています。

箱根ビジターセンターにお越しの際は、是非「箱根のクマさん」を探して下さい。何色のクマさんに出会えるのか、楽しみです。（石原）



夕日に染まる秋の冠ヶ岳



初冠雪の冠ヶ岳

秋の玄倉林道を歩く 丹沢湖ビジターセンター

丹沢湖ビジターセンターからユーシンロッジ(休業中)までは、およそ10kmの道のりがあり、徒歩で約3時間かかります。

途中、**隧道**と呼ばれるトンネルが8か所あり、3年前(2011年10月)に完成した**新青崩隧道**は延長327mもあります。このトンネル内には照明が一切なく、懐中電灯やヘッドランプが必要なので、ちょっとした探検気分を味わうことが出来ます。試しに一度ライトを消すと、その雰囲気がよくわかります。ただし、時々ダム管理や林業関係の通行許可車両が通りますから、注意してください。

隧道にはそれぞれ名前がついていて、第一号隧道から第八号隧道となっています。その他、境隧道(第一号)、新青崩隧道(第二号)、石崩隧道(第三号)という別名もあります。

特に味わいのある隧道は、第四号隧道と第六号隧道です。この二つは素掘りの隧道で、周辺の自然によく溶け込んでいます。ユーシンより奥の熊木ダム手前にも素掘りの隧道があり、絵になる隧道として人気があります。

この季節、玄倉林道の法面には、イワシャジンが咲き

乱れ、目を楽しませてくれます。

玄倉林道は長距離ですから時間に余裕をもってお出かけください。きっと良い思い出になるはずです。(大津)



第四号隧道



第六号隧道



咲き乱れるイワシャジン



玄倉林道のイワシャジン

植物を観察してみよう！ 秦野ビジターセンター

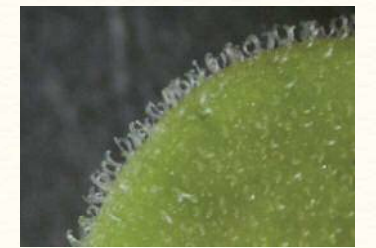
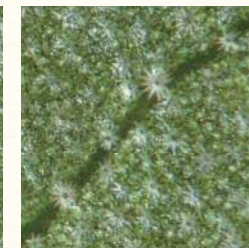
虫眼鏡や顕微鏡とっても面白いんですよ。身近な植物たちでも、肉眼では見えなかった不思議な形が見えたり、思わず「へえ～」と言ってしまいそうな構造をしていたり、発見がたくさんみつかります。



ネコジャラシの名前で有名なエノコログサの仲間の花。赤いフサフサはめしべ、X型は花粉の入っていた葯(おしべ)の両性花。こんな奇妙な花を咲かせるのです。



白い花を咲かせるウツギの葉の表(左)・裏(右)に生える「星状毛」。表面は星形ヒトデ、裏面はイソギンチャク？まるで海の底の生き物たちみたいですね。



くつつき虫で知られるヌスビトハギの仲間の種。マジックテープの構造が見えますか？これで動物たちにくっついて運ばれていくのです。植物たちの知恵が垣間見られます。

ぜひいろいろなものを拡大！してみてください。きっと植物観察のとりこになると思いますよ。(谷脇)

秋風舞う陣馬山

爽やかな秋風が舞い、センター周辺では日差しを受けたススキが銀色に輝きとても綺麗です。

紅葉を迎える前の陣馬山頂や登山道脇ではセンニンソウ、ポタンヅル、ヤマホトトギスなどの秋の草花が咲き誇り、花が終わったガマズミ、ツリバナ、オトコヨウゾメなどには綺麗な赤い実がなります。また鳥や虫の鳴き声も心地よく聞こえます。

山登りには最高の季節になりましたが、汗が引くと肌寒くなるので脱ぎ着のしやすい格好をしましょう。(森久保)



センブリ

陣馬自然公園センター



ヤマホトトギス



ツリバナとキジバト



ツリバナ



ポタンヅル

台風通過直後は要注意

台風通過直後の登山は様々な危険を伴います。台風による風雨によって倒木や土砂崩れが発生し、通行が危険だけでなく通行ができなくなることもあります。また、倒木や土砂崩れによって景色が変わるので道迷いの原因にもなります。落葉は滑りやすくなるだけでなく登山道を覆いつくし、こちらも道迷いの原因になります。

沢沿いの登山道が多い西丹沢では沢の増水によって登山道の通行に支障が出ることもあります。丸太でできた橋は流され、普段飛び石に使う石も流されます。特に注意が必要なことは、『沢の水量はすぐには減らない』ということです。沢の水量は台風通過後数日か

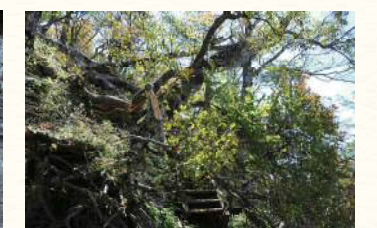
西丹沢自然教室

かって徐々に減ってゆきます。

台風通過後は情報収集を十分にしてから登山してください。登山の際は、安全を確保するため登山口から山頂までの往復をお勧めしています。(赤塚)



渡渉点



倒木